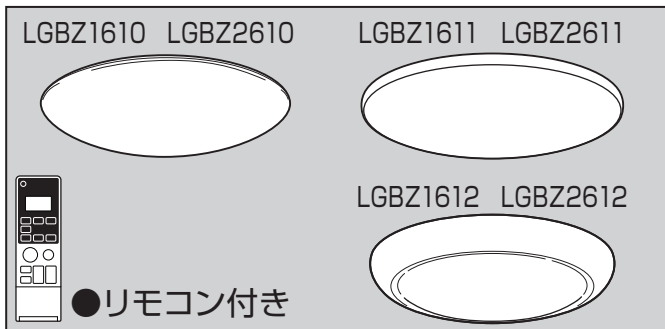


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 LGBZ1610 LGBZ2610
LGBZ1611 LGBZ2611
LGBZ1612 LGBZ2612

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

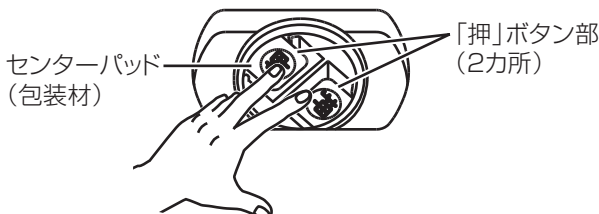
工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工前に必ず器具を底板(包装材)から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

- ①器具のカバーを外す
5ページ「カバーの外しかた」参照
- ②器具中心部のセンターパッド(包装材)の「押」ボタン部(2カ所)を押しながら本体を持ち上げる



もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
各部のはたらき	6
・リモコン受信器	6
・リモコンの準備	6
・リモコン	7
・リモコン操作時の音の消しかた	7
あかりをつける	8
・あかりシーンを切り替える	8
・常夜灯を点灯する	9
・壁スイッチで照明器具を操作する	9
お目覚めモードとは	10
お目覚めモードの設定	10
・お目覚めモードの使いかた	10
・お目覚めモードの設定時刻を変更する	11
・お目覚めモードの音量を変更する	11
リモコンの便利な使いかた	12
・おやすみタイマーの使いかた	12
・複数のリモコン照明器具を操作する	13
・手元灯(橙)を操作する	13
ご使用上に関するお知らせ	14
お手入れについて	14
故障かな?と思ったら	15
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

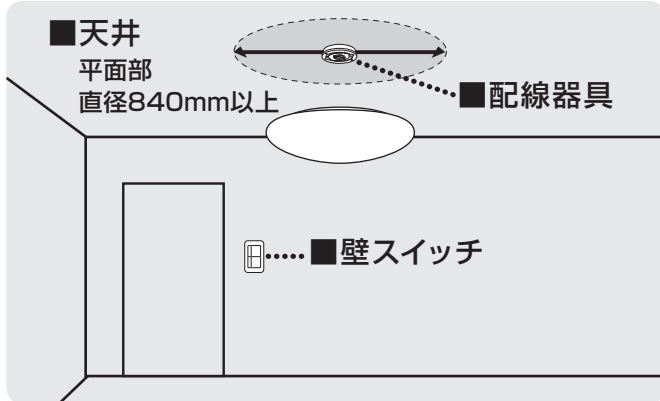


してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



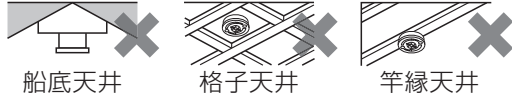
■天井



必ず守る

●必ず上図のような平面部の直径が840 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。



船底天井 格子天井 竿縁天井

◎アダプタ(別売:品番HK9058)を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細はアダプタの取扱説明書をご参照ください。



禁止

●補強のない場所(ベニヤ板や石こうボードなど)に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。

●傾斜した場所に取り付け
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

◎傾斜天井用アダプタ(別売:品番HK9039)を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。

◎傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。がたつき・破損



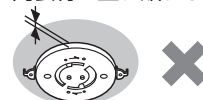
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

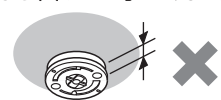
内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの



禁止



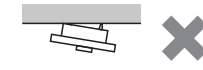
ローゼット10mm未満



引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。



必ず守る



必ず守る

●アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



⚠ 注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●リモコンのLED手元灯やカバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない。目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)

補修品番NZ2717M

配線器具

配線器具

丸型フル引掛
シーリング(1個)

引掛シーリング用
木ネジ (2本)



本体

常夜灯

リモコン受信器

パッキン

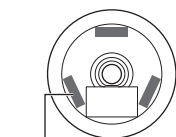
(ムシブロック)

ムシブロックについては、

📖 14ページ

「お手入れについて」参照

◎器具本体裏面に3カ所
ついている黒スポンジ
は取らないでください。
(本体回転防止のため必要です)



黒スポンジ

LED

コネクタ

カバー

(品番をカバーのラベルに表示
しています。)

◎品番により仕様が異なります。

📖 裏表紙「仕様」参照

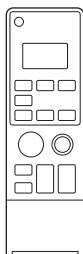
リモコン付属部品

リモコン(1個)

補修品番:HK9806MM

📖 操作方法は、
6~13ページ参照

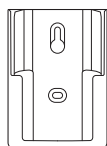
液晶面に保護シートを
貼付していますので、
はがしてご使用ください。



単3形
乾電池
(2本)



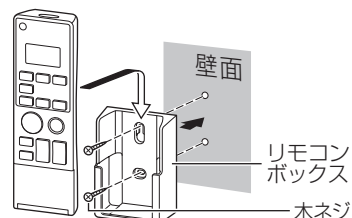
リモコン
ボックス(1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ(2本)



●リモコンボックスを使用して、
紛失防止用に壁掛け収納できます。



リモコン
ボックス

木ネジ

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。

📖 14ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

- ◎ローゼットへの取り付けで取付金具(ハンガー)部に既設器具などのネジが付いている場合は取り外してください。
- ◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。
- ◎工事には資格が必要です。

天井からの出しが 22 mm の配線器具		天井からの出しが 11 mm の配線器具
丸型フル引掛シーリング WG5005 WG5015	丸型引掛シーリング WG4000 WG4420 WG4425 WG1500	引掛埋込ローゼット WG6000 WG6420 WG6130
フル引掛ローゼット WG6005	角型引掛シーリング WG1000	引掛埋込ローゼット(ハンガーなし) WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

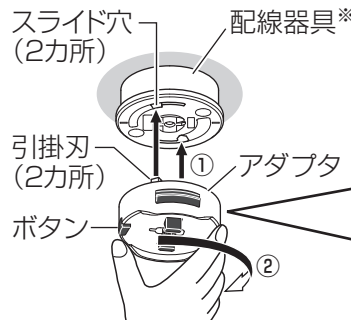
確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



警告

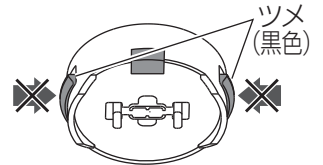


アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



※: 代表例を表示しています

× アダプタのツメ(黒色)を押さえないこと



アダプタのツメを押さえた状態では取り付けできません

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

①本体中心にセンターパッドが取り付いていないか確認する

→ 取り付いている場合は、取り外す

📖 表紙「器具を底板から取り外す方法」参照

②アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

- ◎配線器具により本体の取付位置が異なります。右記を参考に押し上げてください。
- ◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。
- ◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

📖 次ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

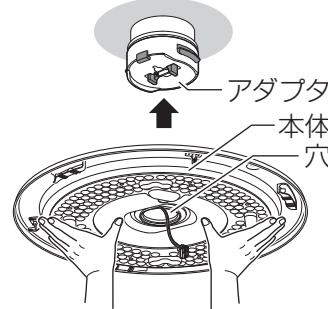
(2) 再度、手順 2 を行う



警告



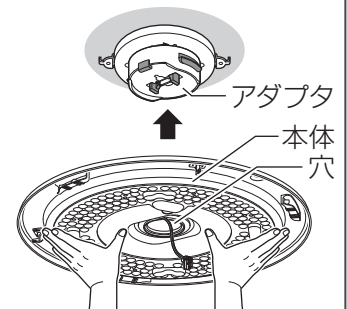
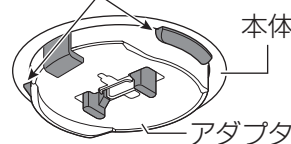
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



**カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置

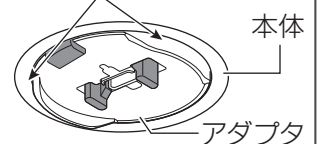
アダプタのツメ(黒色)が
両方見える



**カチッと1度、音が
するまで押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置

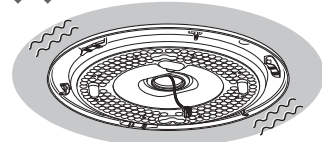
アダプタのツメ(黒色)が
両方見えない



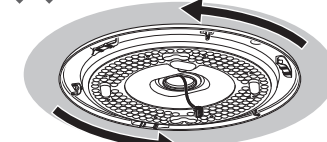
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する

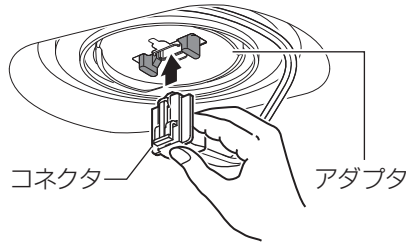


上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。



5 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタをアダプタに
確実に差し込む

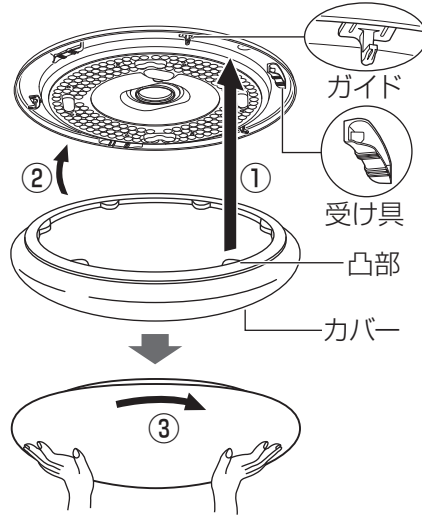


確認

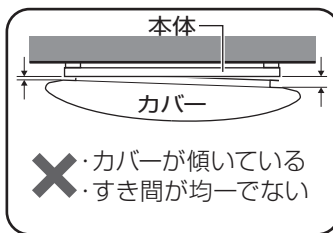
- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順**3**に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(5ページ「照明器具を取り外す」手順**1**参照)本体を押し上げる(4ページ手順**3**参照)

6 カバーを取り付ける

- ① カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる
- ② カバーを持ち上げる
- ③ カバーを回転が止まるまで右に回す(回転角度は、最大で約50度)
- ④ カバーが右に回転しないことを確認する



- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す (5ページ「照明器具を取り外す」手順**1**参照)
(2) 本体を押し上げる (4ページ手順**3**参照)
(3) コネクタを差し込む (上記手順**5**参照)
(4) 再度、手順**6**を行う
- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順**6**を行う



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

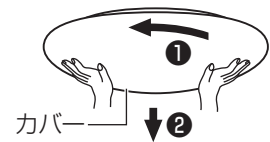
注意



カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを左に約20度回す
- ② カバーを外す



確認

- カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し、本体を正しく取り付ける
(左記**確認**手順(1)~(3)参照)

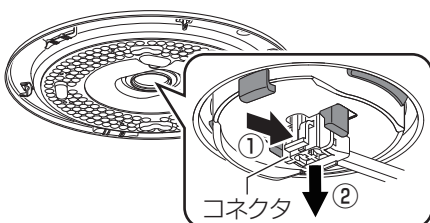
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1

コネクタを外す

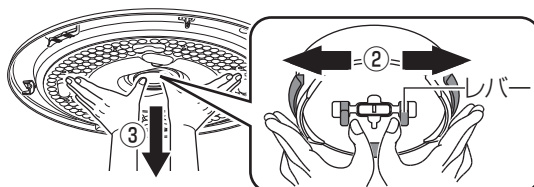
- ① つまみながら
- ② 引いて、外す



2

本体を外す

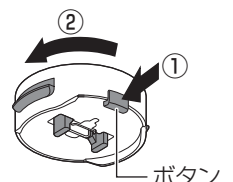
- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② レバーを矢印の方向(左右)に広げたまま
- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



3

アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す

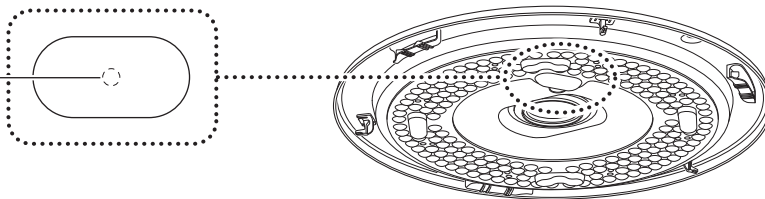


各部のはたらき

リモコン受信器 (本体)

リモコン受信部

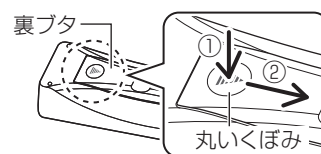
リモコンからの信号を受けます。
◎傷つけたり、汚したりしないでください。



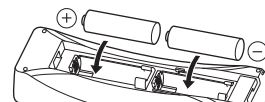
リモコンの準備

●リモコンの裏ボタンを開けて、単3形乾電池を2本入れる

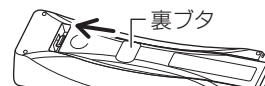
- 1 リモコンの裏ボタンを開ける
①裏ボタンの丸いくぼみを押しながら
②スライドさせて開ける



- 2 単3形乾電池を2本入れる
乾電池の⊕⊖を正しく入れる



- 3 裏ボタンをスライドさせて閉める



●リモコンの現在時刻を設定する

お買い上げ時や電池交換時の設定のしかた
現在時刻が点滅している場合

右記手順4から設定を行う

現在時刻を変更する場合
時刻が点滅していない場合

右記手順2から設定を行う

- 1 リモコンのフタを開ける
- 2 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す
「現在」が点滅する
（「おめざめ」は点灯）
- 3 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
現在時刻が点滅する
- 4 リモコンの「↑↓ボタン」を押して現在時刻を合わせる
- 5 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
現在時刻が点滅から点灯に変わり設定完了
- 6 リモコンのフタを閉じる

リモコン (フタを開けた状態)

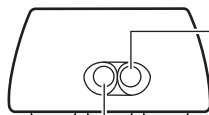


メモ

- 「お目覚めモード」、「おやすみタイマー」をONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。
- 「お目覚めモード」、「おやすみタイマー」がONの状態では、現在時刻の変更はできません。



リモコン (フタを開けた状態)



LED手元灯(橙)

手元灯ボタンを押している間はLED手元灯が点灯

リモコン送信部

◎傷つけたり、汚したりしないでください。

送信部1
送信部2

白い色ボタン

LEDが昼光色6500K※、明るさ約90%で点灯
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼光色6200K※、明るさ100%で点灯
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

くつろぎボタン

くつろぎモードで点灯
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

おめざめ1ボタン

☞ 10ページ「お目覚めモードの使いかた」参照

おめざめ2ボタン

☞ 10ページ「お目覚めモードの使いかた」参照

点灯・普段ボタン

普段のあかりで点灯
(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約70%)
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定:明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 9ページ「常夜灯を点灯する」参照

手元灯ボタン(蓄光)

ボタンを押している間はLED手元灯が点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 13ページ「手元灯(橙)を操作する」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 12ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

フタ

フタを開けて、時刻設定やチャンネル切替などを行います。



暖かい色ボタン

LEDが電球色2700K※、明るさ約50%で点灯
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

夜間ボタン

夜間モードで点灯
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

消灯ボタン

調色ボタン

LEDの光の色を昼光色から電球色に連続で調節
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照

明暗ボタン

LED(100%~約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調節
☞ 8ページ「あかりシーンを切り替える」参照
9ページ「常夜灯を点灯する」参照

おめざめ音量設定ボタン

お目覚めモードの音量を調節(初期設定:音量大)
☞ 11ページ「お目覚めモードの音量を変更する」参照

時刻設定ボタン

現在・お目覚めモードの時刻を設定
☞ 6ページ「リモコンの準備」参照
11ページ「お目覚めモードの設定時刻を変更する」参照

AVボタン

現在・お目覚めモードの選択、時刻を変更
☞ 6ページ「リモコンの準備」参照
11ページ「お目覚めモードの設定時刻を変更する」参照

チャンネルボタン

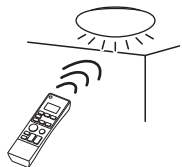
操作する器具のチャンネル(1~3)を設定
(初期設定:チャンネル1)
☞ 13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

※:K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

送信のしかた 必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

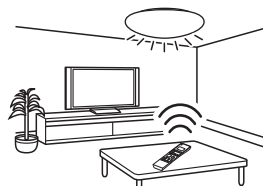
●通常の点灯・消灯の場合

「送信部1」を器具に向けて操作する。



●「お目覚めモード」「おやすみタイマー」を使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯することを確認する。



リモコン操作時の音の消しかた

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

メモ

リモコン操作時の音を鳴らす場合は、左記の操作をもう一度行ってください。(鳴らす場合のみ、「ピッ」と音がして設定完了)



リモコンのフタを開けて「リモコン送信部」を器具に向ける



リモコンの「点灯・普段ボタン」と「チャンネルボタン」を同時に押す

あかりをつける

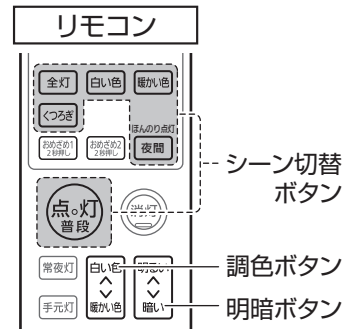
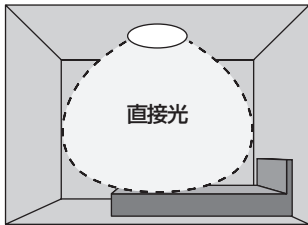
あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンのシーン切替ボタンで6つのあかりシーン（普段のあかり、くつろぎモード、夜間モード、全灯、白い色、暖かい色）が選べます。

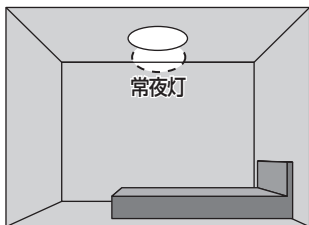
普段のあかり・くつろぎモード・
全灯・白い色・暖かい色

「直接光」のみ点灯

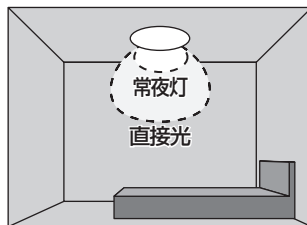


夜間モード（消灯からの場合）

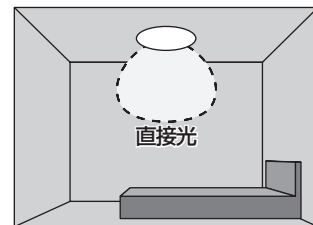
「常夜灯」が点灯*



「直接光」が点灯



「常夜灯」が消灯



※:「常夜灯」が点灯した状態からスタートした場合、点灯状態は変わりません。

白い色 昼光色

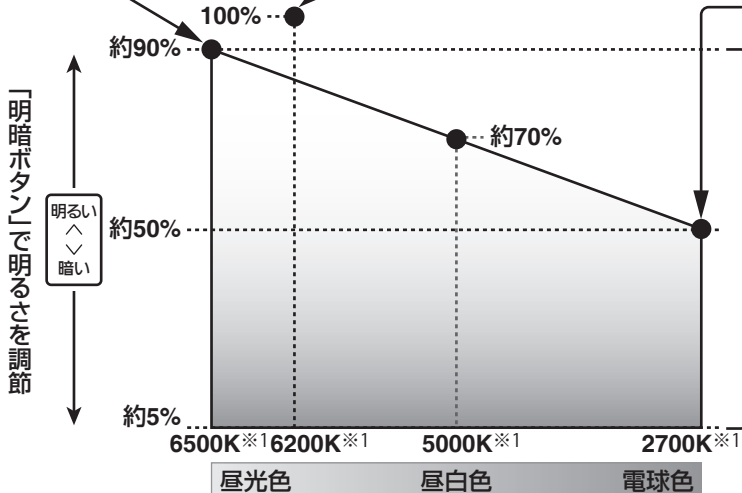
「白い色ボタン」を押すと、
昼光色6500K※1、
明るさ約90%で点灯

全灯 文字くっきり光

「全灯ボタン」を押すと、昼光色6200K※1、明るさ100%(文字くっきり光)で点灯
【文字くっきり光とは】
文字が見やすい「色温度(6200K)」と「明るさ」で、小さな文字もくっきり見えるあかりです。読書や勉強などにおすすめです。

暖かい色 電球色

「暖かい色ボタン」を押すと、
電球色2700K※1、
明るさ約50%で点灯



点灯 普段

普段のあかり

「点灯・普段ボタン」を押すと、左図の範囲内であらかじめ設定した明るさ、光の色で点灯
(初期設定:昼白色5000K※1、明るさ約70%)

■ 普段のあかりを調光、調色して記憶させる

- 1 リモコンの「点灯・普段ボタン」を押して普段のあかりを点灯させる
- 2 リモコンの「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節する
→ 記憶

メモ

- LEDの明るさ、光の色を調節すると、その都度記憶します。
- 「白い色ボタン」「暖かい色ボタン」を押して、上記手順2の操作をした場合も「点灯・普段ボタン」に記憶されます。
- 「全灯ボタン」を押して明るさを調節しても記憶しません。また、「全灯ボタン」を押した場合、調色できません。

※1: K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。



くつろぎ

くつろぎモード

おやすみ前のおかりで、覚醒させず、絵本が読める明るさを確保します。

「くつろぎボタン」を押すと、直接光が約12%の明るさで点灯

	光色	明るさ
直接光	電球色(2700K)固定	約12%点灯

夜間

夜間モード

夜間にトイレなどで部屋を出る際、覚醒させず、安全歩行ができる明るさを確保します。

「夜間ボタン」を押すと、常夜灯が点灯[※]し、遅れて直接光が約2%の明るさで点灯

「夜間ボタン」を押してから約7秒後に常夜灯が自動消灯

※:「常夜灯」が点灯した状態からスタートした場合、点灯状態は変わりません。

	光色	明るさ
直接光	電球色(2700K)固定	約2%点灯
常夜灯	オレンジ色固定	6段階の設定した明るさで点灯

メモ ●初期設定：常夜灯【明るさ】100%

常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

1 リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる

2 リモコンの「明暗ボタン」で明るさを調節する
→記憶

メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

壁スイッチで照明器具を操作する

■ 点灯・消灯する



記憶している前回の「点灯状態」で点灯します

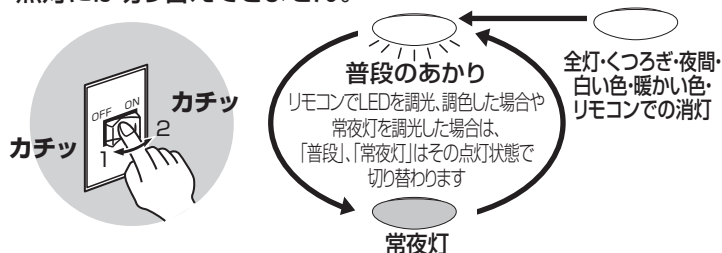
現在(消す直前)の「点灯状態」を記憶して消灯します

- 「お目覚めモード」状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときは「全灯」で点灯します。
- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

注意 壁スイッチを素早く操作すると点灯状態が切り替わります。
☞ 右記「点灯状態を切り替える」参照

■ 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、全灯・くつろぎ・夜間・白い色・暖かい色点灯には切り替えできません。



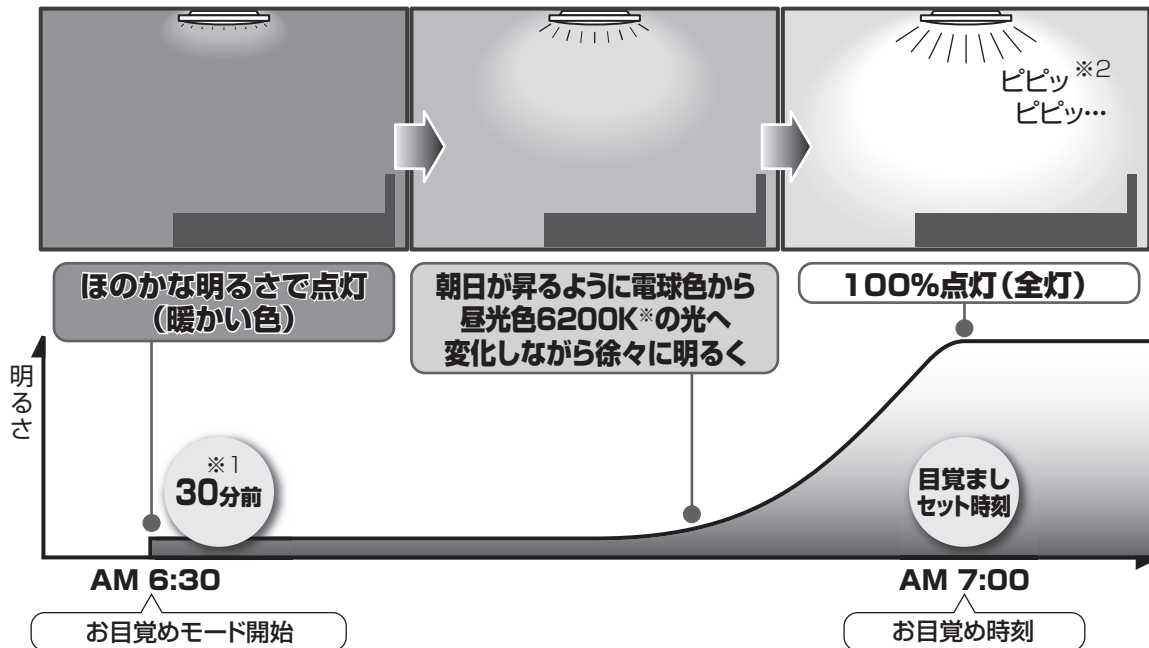
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

お目覚めモードとは

朝日が昇るように電球色から昼光色6200K※へ光の色が変化しながら徐々に明るくなり、爽やかな目覚めをサポートします。

■ 明るさ変化のイメージ (AM7:00に目覚ましセット時刻を設定したとき)

※: K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。



※1:お目覚めモードの開始時刻は、目覚ましセット時刻の30分前と15分前から選べます。

※2:アラーム音は、約2分で自動停止します。(アラーム音には、スヌーズ機能はありません。)

リモコン(フタを開いた状態)の「おめざめ1」、「おめざめ2」「手元灯」以外のボタンを押すとアラーム音を停止できます。(点灯状態は、変わりません。)

お目覚めモードの設定

お目覚めモードを使用するには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。 6ページ「リモコンの準備」参照

お目覚めモードの使いかた

■ お目覚めモードをONにする

- リモコンの「おめざめ1ボタン」または、「おめざめ2ボタン」を2秒以上押す

または

「おめざめ1」または「おめざめ2」、「目覚ましセット時刻」が表示される (おめざめ1→初期設定:「7:00」) (おめざめ2→初期設定:「9:00」)

約2秒後

「お目覚めモード開始時刻」が表示される (初期設定:「30分前」)

約2秒後

「現在時刻」に表示が切り替わり、お目覚めモードがセットされる

- 操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く

7ページ「送信のしかた」参照

注意

壁スイッチで消灯すると「お目覚めモード」は、動作しません。照明器具を消灯する場合は、リモコンで操作してください。

リモコン



■ お目覚めモードをOFFにする

- リモコンの液晶パネルに「おめざめ1」または「おめざめ2」の表示があることを確認してから操作する

- リモコンの液晶パネルに表示されている「おめざめ1」または「おめざめ2」と同じボタンを2秒以上押す

➔ リモコンの液晶パネルの「おめざめ1」または「おめざめ2」の表示が消え、「お目覚めモード」がOFFする

メモ

- お目覚めモード開始後に、「点灯・普段」「全灯」「くつろぎ」「白い色」「暖かい色」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押すと点灯状態が切り替わり、お目覚めモードは、実行されません。
- お目覚めモードは、OFFするまで毎日繰り返します。

お目覚めモードの設定時刻を変更する


- 1 リモコンのフタを開ける

- 2 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す



- 3  リモコンの「上/下ボタン」でおめざめに合わせる



- 4 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



- 5  リモコンの「上/下ボタン」で「おめざめ1」か「おめざめ2」を選ぶ


↓ ↑



- 6 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



- 7  リモコンの「上/下ボタン」で目覚ましセット時刻を変更する
 - 時刻は1分刻みで設定できます。

- 8 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す



- 9  リモコンの「上/下ボタン」でお目覚めモード開始時刻を選ぶ


↓ ↑



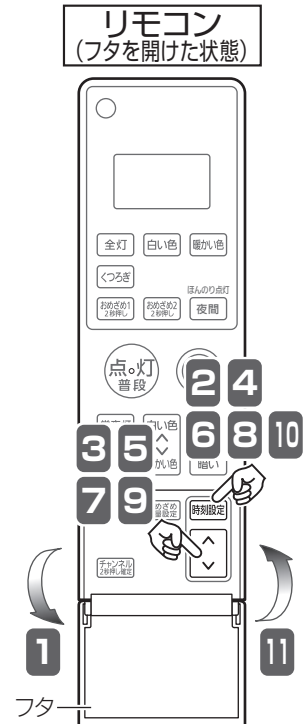
- 10 **時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押し設定を決定する


 - 「時刻設定ボタン」を押さないと約60秒で、前回の設定に戻ります。
 - 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

- 11 リモコンのフタを閉じる

注意

「お目覚めモード」がONの状態では、設定時刻の変更ができません。
 (現在時刻の変更もできません)
 「お目覚めモード」をOFFにして設定時刻の変更を行ってください。



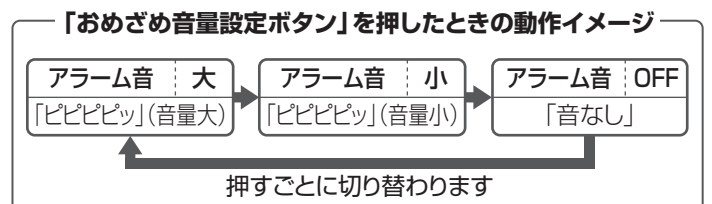
お目覚めモードの音量を変更する

アラーム音は「大」「小」「OFF」から選べます

- 1 リモコンのフタを開ける

- 2 **おめざめ音量設定** リモコンの「おめざめ音量設定ボタン」を押し希望のアラーム音量を選択する

- 3 リモコンのフタを閉じる



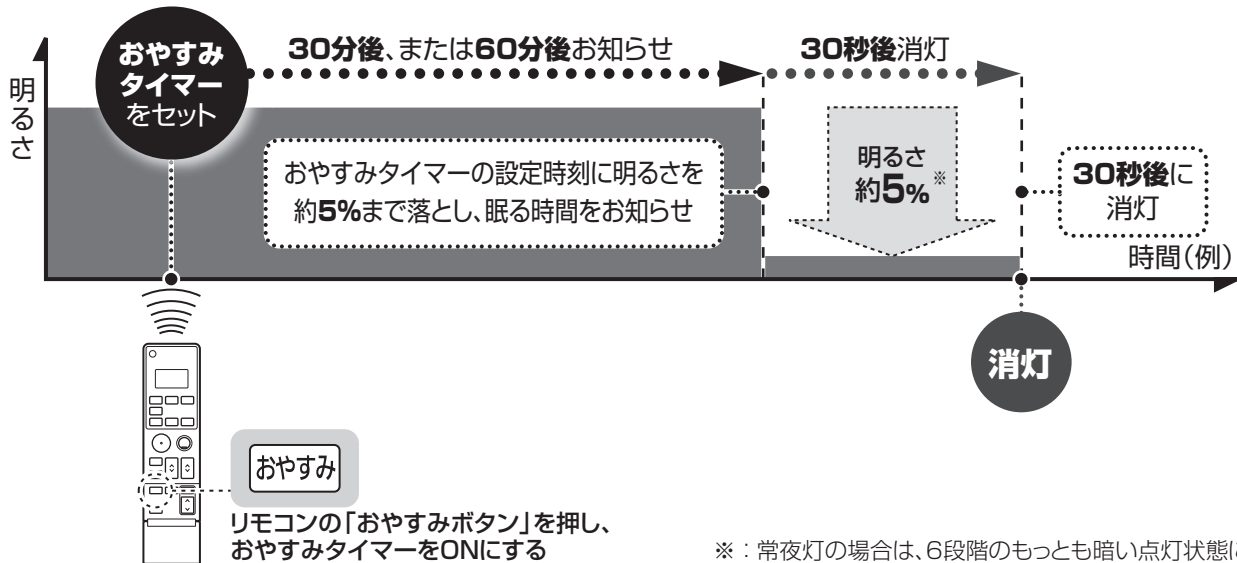
リモコンの便利な使いかた

おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーを使用するには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。⑥6ページ「リモコンの準備」参照

おやすみタイマーの設定時刻に明るさを約5%まで落とし、眠る時間をお知らせします。30秒後に自動消灯を行います。

■ おやすみタイマーの動作イメージ

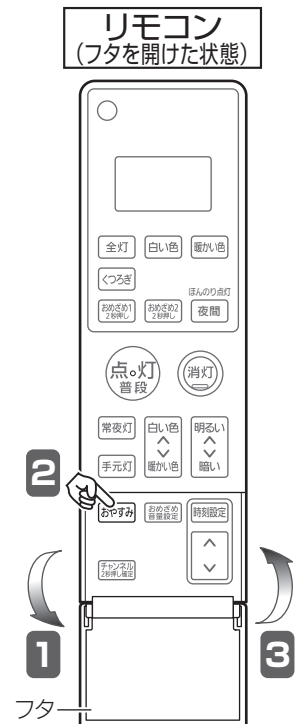


※：常夜灯の場合は、6段階のもっとも暗い点灯状態になります。

■ おやすみタイマーをONにする

- 1 リモコンのフタを開ける
- 2 **おやすみ** 「おやすみタイマーボタン」を押し希望のタイマーを選択する
(30分後消灯) (60分後消灯) (未設定・OFF)
おやすみ 30 → おやすみ 60 → 12:34
押すごとに表示が切り替わります。
- 3 リモコンのフタを閉じる
- 4 リモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く
⑦7ページ「送信のしかた」参照

メモ リモコンのタイマー時間表示は、1分刻みで減っていきます。



■ おやすみタイマーをOFFにする

15 **おやすみ** リモコンの液晶パネルに「おやすみ」の表示があることを確認してから操作する

- 1 リモコンのフタを開ける
- 2 **おやすみ** 「おやすみタイマーボタン」を押し
→ リモコンの液晶パネルの「おやすみ」の表示が消え、「おやすみタイマー」がOFFする
- 3 リモコンのフタを閉じる

メモ ●リモコンの「消灯ボタン」を押しして消灯させた場合も「おやすみタイマー」はOFFされます。
●「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その「おやすみタイマー」はOFFされます。

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

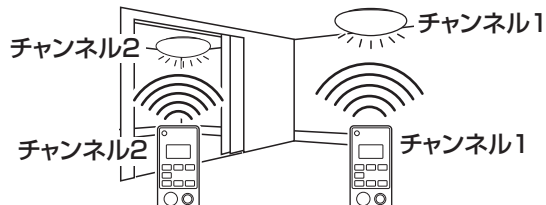
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
◎ 器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合

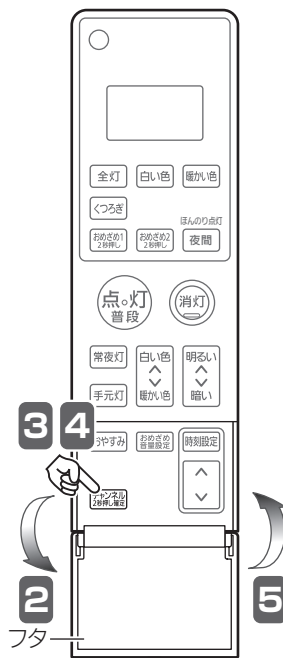


- 近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



- 壁スイッチON** チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチをOFFにする※)
- リモコンのフタを開ける**
- リモコンの「チャンネルボタン」を押して希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる**
リモコンの「チャンネルボタン」を押して希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる
現在設定されているチャンネルが表示されます。その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。(最後に操作してから約3秒後に表示は消えます。)
- リモコンの「チャンネルボタン」を2秒以上押す**
(リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて)チャンネルが表示中にもう一度「チャンネルボタン」を2秒以上押す
→ 「ピピーツ」と音がして設定完了
- リモコンのフタを閉じる**

リモコン (フタを開けた状態)



メモ

- 本製品以外の照明を操作する場合は、ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンの「全灯」「白色」「暖かい色」「くつろぎ」「夜間」「常夜灯」「消灯」「点灯・普段」「調色」「明暗」「おめざめ音量設定」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。



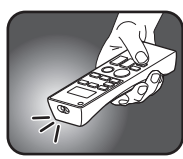
いずれかのボタンを押している間は
↓
設定されているチャンネルが表示されます。

※：周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

手元灯(橙)を操作する

いざという時に便利な手元灯付き

- 手元灯** リモコンの「手元灯ボタン」を押している間、LED手元灯が点灯



注意
ひんぱんに手元灯を使用すると電池寿命が短くなります。

ご使用上に関するお知らせ

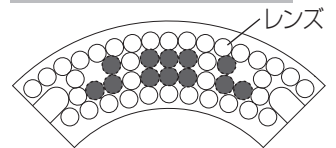
故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

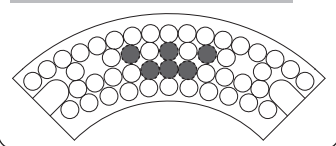
- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。☞13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 2 参照
- リモコンのLED手元灯が点灯している場合やリモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作ができない場合があります。(LED手元灯の点灯中は、電池の消耗に関わらず照明器具の操作が行えません。)
- リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
- リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- LEDの配置の関係上、一部光らないレンズがあります。
- パッキン(ムシブロック)は虫の侵入を完全に防止するものではありません。周囲環境、虫の種類によっては防虫効果が減少する場合があります。
- 皮膚にアレルギーを起こしやすい体質の方は、パッキン(ムシブロック)に触れるとかぶれなどを起こす可能性がありますので触れないようにしてください。パッキンに触れた場合には、念のため水でよく洗い流してください。
- パッキン(ムシブロック)・キレコートは経年劣化により、効果が多少減少します。(使用環境により程度は異なります) ☞お手入れについては、14ページ「お手入れについて」参照

レンズの●部分は、光りません。
(下図はレンズの1/4を表しています)

LGBZ1610、LGBZ1611、
LGBZ1612



LGBZ2610、LGBZ2611、
LGBZ2612



【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)からでる赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画像に縞模様が入る場合があります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。

確認

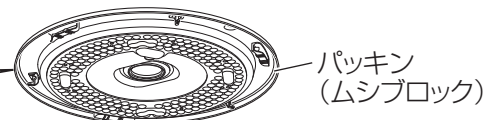
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

本体

- 汚れは、やわらかい布を**石けん水**に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

- パッキン部は、防虫性能が低下しますのでふかないでください。



【ムシブロックとは】

カバーと本体のすき間にパッキンを装着。更にパッキンには防虫剤をしみこませることでカバー内への虫の侵入を防ぎます。

カバー

- カバーの仕様によってお手入れ方法が異なります。カバーの仕様は、☞裏表紙「仕様」参照
- キレコートなしタイプの場合：汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- キレコートありタイプの場合：下記参照

キレコート部(カバー外面)のお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を**水**に浸してよく絞ってから軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

- キレコート部(カバー外面)は、強くこすらないでください。また、水拭きの際は洗剤などを使用しないでください。コーティングはがれの原因となります。

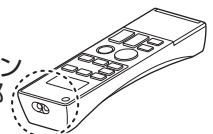
【キレコートとは】

水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油汚れが付きにくく、付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)
(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。
染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

リモコン

- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。○付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

リモコン
送信部



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ	
本体が取り付けられない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し…………… 6ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける…………… 4ページ ②		
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、…………… 6ページ ① ②本体を押し上げてから…………… 4ページ ③ ③コネクタを再度、差し込む…………… 5ページ ⑤		
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしている	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	9ページ 「壁スイッチで照明器具を 操作する」	
勝手に点灯する	「お目覚めモード」がONになっている	「お目覚めモード」をOFFにする	10ページ 「お目覚めモードの使いかた」	
	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— 8~9ページ 「あかりをつける」	
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	12ページ 「おやすみタイマーの使いかた」	
リモコン で操作 できない	液晶が表示しない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる 6ページ「リモコンの準備」	
	液晶は表示している LED手元灯は点灯 する	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	
		リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	13ページ「複数のリモコン 照明器具を操作する」
		他の機器(例えば、スマートフォン、タブレット、 3Dテレビなど)からでる赤外線の影響により、 リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、 照明器具に対する向きを変える、 または電源を切る	—
リモコン操作時または 「お目覚めモード」セット 中にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常では ありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。		
点灯状態が 勝手に 切り替わる	「お目覚めモード」がONになっている	「お目覚めモード」をOFFにする	10ページ 「お目覚めモードの使いかた」	
	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に 下記のA、Bの操作を行ってください。 A リモコンの「フタ」を開けて「リモコン 送信部」を器具に向ける B リモコンの「チャンネルボタン」と「消 灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します。) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻り ますので、下欄の「上記の処置を行っても 現象が続く場合」本体の処置②を行ってくだ さい。また、記憶させていた普段のあか り、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻りま すので、設定をしておいてください。		
「ピピッピピッピピッ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口 (保証書内在中)にご相談ください		
「お目覚めモード」の 開始時刻が設定できない 現在時刻が点滅している	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	6ページ 「リモコンの準備」	
「お目覚めモード」 「おやすみタイマー」が 操作できない				
現在時刻が点滅している (00:00で点滅している)	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する		
「お目覚めモード」 「おやすみタイマー」で 点灯または消灯しない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	6ページ「リモコンの準備」	
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが 動作する場所に置く	7ページ「送信のしかた」	
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	14ページ 「お手入れについて」	
現在時刻の 変更ができない	「お目覚めモード」「おやすみタイマー」が ONになっている	「お目覚めモード」「おやすみタイマー」 をOFFにしてから行う	10ページ 「お目覚めモードの使いかた」 12ページ 「おやすみタイマーの使いかた」	

上記の処置を行っても 現象が続く場合

本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する 13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照
リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する 13ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 ② 参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様



保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	カバー
<input type="checkbox"/> LGBZ1610	AC 100 V	50/60 Hz共用	33.5W	くつろぎのあかり 3.5W リモコンOFF時 1W 以下 (待機時状態) 常夜灯のみ 約1W	0.35A	キレイコートあり
<input type="checkbox"/> LGBZ1611						キレイコートなし
<input type="checkbox"/> LGBZ1612						キレイコートなし
<input type="checkbox"/> LGBZ2610			36.8W		0.38A	キレイコートあり
<input type="checkbox"/> LGBZ2611						キレイコートなし
<input type="checkbox"/> LGBZ2612						キレイコートなし

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () —
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2019 - 2020

LGBZ1610-T3A2

N0219-021020

